

平成 30 年度 野生動物救護実績について

自然環境保全センター（厚木市七沢）では、県民の皆様によって救護され、運び込まれた傷病鳥獣（傷ついたり弱ったりしている野生の鳥類や哺乳類）を収容して治療し、野生に返す（放鳥、放獣）仕事を行っています。

平成 30 年度の野生動物救護の実績をお知らせします。

1 平成 30 年度の鳥類・哺乳類救護状況

区 分	種 類	頭、羽	割 合（％）
鳥 類	50	284	87.7
哺乳類	4	40	12.3
合 計	54	324	100

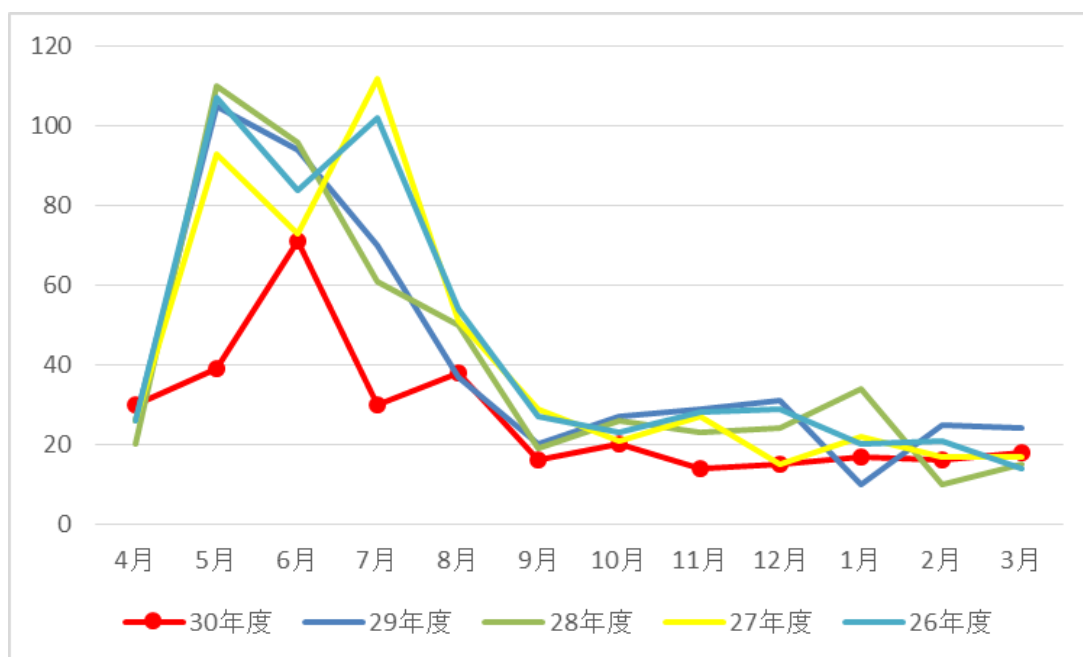
参考（過去 5 カ年の救護状況）

(1) 年度別救護数

年度別	平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度	
鳥 類	284	(23)	445	(15)	436	(35)	436	(23)	464	(32)
哺乳類	40	(2)	53	(3)	53	(5)	67	(4)	71	(3)
計	324	(25)	498	(18)	489	(40)	503	(27)	535	(35)

* () はへい死体で持ち込まれたもので、内数

(2) 月別救護点数



(3) 救護数上位10種

年度別 順位	平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽
1	ツバメ	49	スズメ	70	スズメ	81	ツバメ	84	ツバメ	91
2	スズメ	43	ツバメ	64	ツバメ	63	スズメ	70	スズメ	81
3	タヌキ	33	タヌキ	35	ムクドリ	45	キジバト	45	タヌキ	38
4	キジバト	30	キジバト		タヌキ	30	タヌキ	45	ヒヨドリ	37
5	ムクドリ	20	ムクドリ	28	ヒヨドリ	28	ムクドリ	30	キジバト	33
6	ヒヨドリ	18	カルガモ	27	キジバト	27	ヒヨドリ	25	ムクドリ	32
7	メジロ	11	ヒヨドリ	22	シジュウカラ	20	シジュウカラ	24	メジロ	22
8	トビ	8	イワツバメ	12	カルガモ	19	メジロ	17	シジュウカラ	21
9	モズ	7	トビ	10	ハクセキレイ	16	ハクセキレイ	16	ハクセキレイ	19
	シジュウカラ									
10	カルガモ	6	コシジロウミツバメ	9	メジロ	16	アオバト	14	アブラコウモリ	18
		メジロ								

(4) 放野率・死亡率(%)

	平成30年度			平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他
鳥類	44.4	46.8	8.8	29.5	61.9	8.6	37.7	54.1	8.2	32.9	55.9	11.2	28.7	61.3	10
哺乳類	39.5	13.2	47.4	36.0	42.0	22.0	34.1	47.7	18.2	38.1	38.1	23.8	60.3	30.9	8.8
全体	42.1	45.5	12.4	30.2	59.8	10.0	36.7	53.2	10	31.8	55.7	12.5	33	57.2	9.8

* 各年度の3月31日時点(へい死体除く)

* その他は治療中・終生飼養・長期飼養に移管したものを含む。

2 平成 30 年度の特徴

全体の救護原因として建物への衝突などといった、主に人間が関わっている救護原因は 65.4% です。

(鳥 類)

- ・スズメ、ツバメ、ムクドリ、カルガモなど人間の近くで繁殖・生活している種類が上位を占めています。今年度は例年よりもヒナの持ち込みが減少しています。
- ・珍しい例としては平成 30 年 8 月にセグロアジサシ (4 例目)、10 月にオオシロハラミズナギドリ (2 例目)、オオジシギ (初事例) が保護されました。



オオジシギ

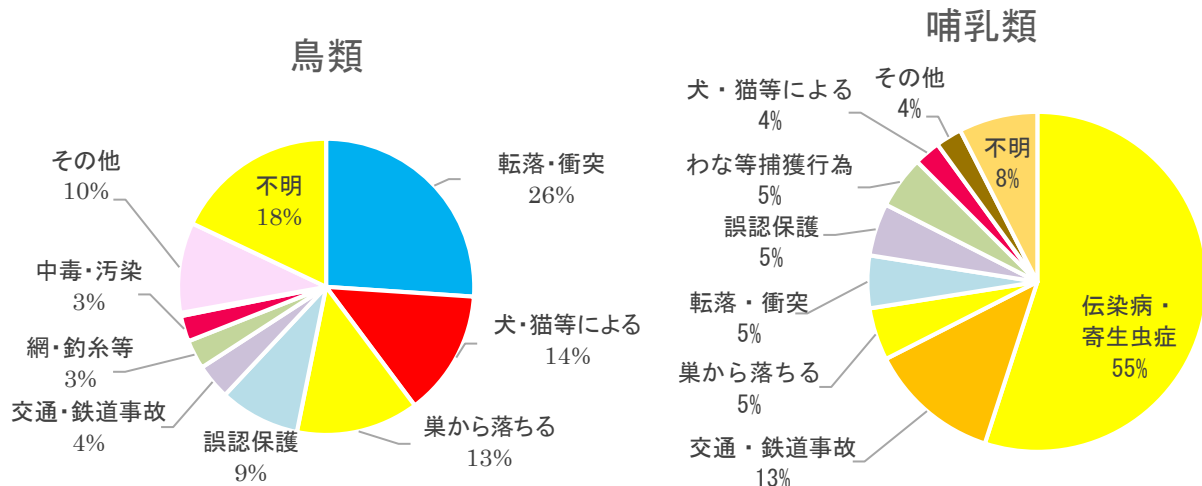


セグロアジサシ

(哺乳類)

- ・平成 30 年度より神奈川県ではハクビシンの受入を終了しました。
- ・哺乳類はタヌキの保護件数が多く、その 5 割以上が疥癬症によるものです。

参考 (平成 30 年度の保護原因)



3 ボランティアの活動

- ・当センターには野生動物の飼養や治療・リハビリの補助、環境教育や普及啓発活動等を行っている多くの野生動物救護ボランティアの方々がいらっしゃいます。
- ・野生動物救護ボランティアには一般ボランティア（注1）、短期飼養ボランティア（注2）および長期飼養ボランティア（注3）があります。平成30年度の一般ボランティアの活動人数は年間延べ1,185人で、毎年多くの方々にご参加いただいています。また、長期飼養ボランティアに飼養を新たに依頼した野生動物の数は3件になります。

注1 一般ボランティア

当センターに保護されている鳥獣のお世話や傷病舎特別公開などの普及啓発活動を行っていただいております。

注2 短期飼養ボランティア

主に、毎年5月から8月くらいまでの間、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリなど主に巣立ち前の野鳥のヒナ等のお世話やすぐに放鳥・放獣できない動物のリハビリ訓練などを行っていただいております。

注3 長期飼養ボランティア

翼が折れているなどの理由により野生に返せない鳥獣を、生涯にわたり飼養を行っていただいております。

参考（過去5年間のボランティア活動状況）

(1) ボランティア登録状況

年度別	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ボランティア登録数	228	254	259	245	256

* ボランティア登録数は、各年度の3月31日現在

(2) 一般ボランティアの年度別活動状況

(延べ人数)

年度別	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動延べ人数	1,185	1,217	1,132	904	1,036

(3) ボランティアへの飼養依頼

年度別		平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
鳥類	短期	1	0	0	19	17
	長期	3	5	0	9	6
哺乳類	短期	0	1	0	0	2
	長期	0	1	1	1	0
合計	短期	1	1	1	19	19
	長期	3	5	1	10	6
総計		4	5	2	29	25

* 各年度新たに依頼した分のみ掲載